

はなすときのマナー

- しずかに てをあげよう。
- なまえを よばれたら、「はい！」と へんじをしてから。
- きいているひとに からだをむけて、みんなが きいているか たしかめてから。
- きいているひとの めを みて。
- ちょうどいい スピードと こえの おおきさで。
- いたいことを みじかく ハキハキと。
- さいごまで しっかりと。
- つなげることばを つかって。
- あいてに よびかけるように。
- もの、え、ず などを みせながら。
- つたえようという きもちをこめて、やさしいことばで。



きくときのマナー

- はなすひとに からだをむけて たいしいし
せいで。
- はなすひとの めを みて。
- はなしおえるまで しずかに。「シ〜！」は、
あいずで。
- しゅうちゅうして、いっしょうけんめい。
- うなずきながら、きもちを かおにだして。
- はなすひとが つまったときは、はげましを
わすれずに。「がんばって！」
- しつもんをしたり、かんそうを いえたり
できるように、かんがえながら。
- いたいことを わかろうとする やさしさを
たいせつ。
- メモやへんじは、ききおわってから。



じょうずな はなしあい

●まずは、うけとめる。

「なるほどね！」「そうなんだ…。」

●じっくりとかんがえる。

「なぜ？」「そして？」「どうなってるの？」

●ちがいをたいせつに。

「よくにってるな。」「ちょっとちがうけど…。」

●アイデアは、えんいよせず。

「こうしたら？」「あれならいけるよ！」

●みんなでやったね！

「いいね～！」「いいアイデアだね！」

●さいごは、まとめる。

「それでいこう！」「わかったよっ。」

「…ということなんだね。」

